

漫湖水鳥・湿地センター

たよい

2006年2月10日発行

No.31



あっ、カワセミ発見！

漫湖水鳥・湿地センター 自然観察会

新春 野鳥観察会

講師：渡久地 政武先生（大名小学校教諭）

新年を迎え、新しい気持ちで野鳥を観察してみよう！ということで、1月15日（日）に「新春野鳥観察会」を行いました。少し肌寒さを感じましたが、天候にもめぐまれ絶好の観察日和となりました。

まず、渡久地先生から野鳥を見るときのポイントや双眼鏡の正しい使い方の説明を受け、いよいよ野鳥観察に出発です。

マングローブ林の脇を歩いていると、「パッ」とコバルトブルーに光る鳥が飛んでいきました。「飛ぶ宝石」と呼ばれるカワセミです！その美しい姿に、参加者の皆さん感動！

その後も、クロツラヘラサギ、ダイシャクシギ、アオアシシギなどたくさんの野鳥をじっくり観察することができました。

それからセンターに戻り、野鳥の名前を当てる「あなたはだあれ??ゲーム」で盛り上がりました。子供たちが鳥の特徴をよく知っていて、驚きました。

今回、ほとんどの方が始めて観察会に参加したようで、「漫湖にこんなに多くの鳥がいるなんて知らなかった」「自然に触れ合うことができて感激」といった感想を頂きました。

これからも、漫湖の自然と野鳥を大切にしていましましょうね。



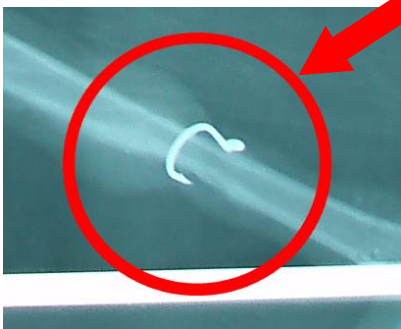
みんなで観察。どんな鳥がいるのかな？



わたしは、コサギですか？

受難 クロツラヘラサギ 釣り針によって死亡!!!

死亡したクロツラヘラサギのレントゲン写真



脚に刺さった釣り針がはっきりと映っている。

年が明け、新しい気持ちで1月をスタートしました。クロツラヘラサギも毎日のように漫湖で姿を見ることができたので、「今年は、良い年になるぞ!!」と思っていました。

しかし、ショックなニュースが飛び込んできました。なんと、クロツラヘラサギが衰弱死してしまったのです。

1月7日午前中、豊見城市与根で1羽の衰弱したクロツラヘラサギが保護され、動物病院へ運ばれました。しかし、すぐに死んでしまいました。死亡したクロツラヘラサギは、左の足首と胸に2本の釣り針が刺さり、左右の羽は釣り糸が巻きついていました。糸をはずそうと抵抗し、さらに強く巻きついたようです。

クロツラヘラサギは、夏の間、朝鮮半島で子育てをし、冬を過ごすために九州や沖縄へ南下します。2千kmの旅を終え、やっと到着した沖縄で、人の捨てた釣り針によって命を落とすこととなってしまいました。

人間が捨てたゴミが貴重種であるクロツラヘラサギ1羽の命を奪ってしまいました。

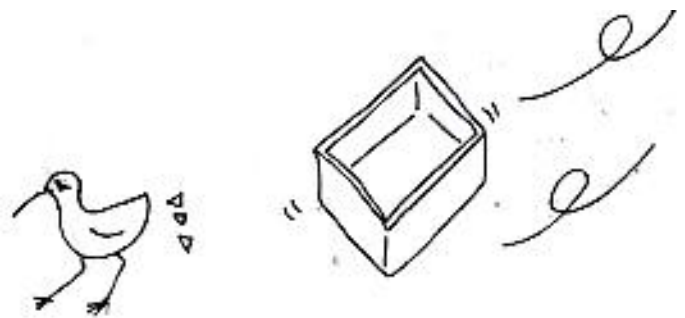
漫湖にもたくさんのゴミが落ちています。私たちの気づかないところで、どれだけの動物が人間の行為によって命を失っているのでしょうか?私たちのマナーを考える時にきています。

こんなことから感じる鳥たちへの影響 ~漫湖の日常~

1月11日、漫湖にかかるとよみ大橋の上から鳥を観察していました。真下では、チュウシャクシギがエサを探しています。

強い風が吹き、漫湖に捨てられていた発泡スチロールの箱がコロコロと転がります。その発泡スチロールは、チュウシャクシギの方向へ向かっていきます。チュウシャクシギは、エサと探すのを中断し、向かってくる発泡スチロールから逃げていきます。また、強い風。チュウシャクシギは、逃げてきます。この繰り返し...

発泡スチロールに追いかけられたからといって、チュウシャクシギの命がなくなってしまうわけではありませんが、まぎれもなく「人間のせいで」野生生物に影響を与えている一場面です。これが漫湖の日常です。



漫湖水鳥かわら版 31

～1月 そろそろ恋の季節??～

1月	羽数	先月との比較
カイツブリ	4	↑
ササゴイ	1	↑
ダイサギ	8	↑
チュウサギ	3	↑
コサギ	13	↑
クロサギ	1	↑
アオサギ	27	↑
クロツラヘラサギ	7	↑
ツクシガモ	1	→
オナガガモ	8	↓
キンクロハジロ	4	↑
スズガモ	1	↑
ミサゴ	4	→
サシバ	1	→
ハヤブサ	1	→
バン	2	↓
シロチドリ	33	↓
メダイチドリ	2	↓
ムナグロ	165	↑
ダイゼン	31	↑
トウネン	4	↓
ヒバリシギ	3	↑
ハマシギ	9	↓
アカアシシギ	41	↑
アオアシシギ	43	↓
キアシシギ	1	→
イソシギ	13	↑
ダイシャクシギ	10	↓
ホウロクシギ	1	→
チュウシャクシギ	6	↑
タシギ	5	↑
カワセミ	1	→
キセキレイ	1	↑
ハクセキレイ	5	↑
合計	460	↑

1月25日

望遠鏡をのぞいていると、クロツラヘラサギを見つけました。「??」なにやらおかしいことをしています。

2羽のクロツラヘラサギがお互いに胸の辺りの羽づくろいをしあっています。

このような行動は始めて見ました。アツアツのカップルのような2羽の行動に、「恋の季節かしら?」と思わずにはいられませんでした。

本当にこの2羽がカップルとなり、来年、子供と一緒に漫湖へ帰ってきてくれたら、うれしいですね。



1月28日

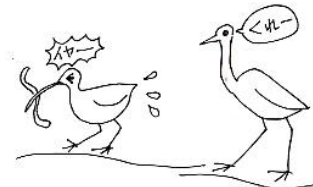
この日は、ムナグロがたくさんいました。1羽1羽望遠鏡で確認していきます。「あれ?」と思ったら、顔から腹にかけて黒ライン…まさに「ムナグロ」、きれいな夏羽になったムナグロがいました。まだ冬羽の個体が多いですが、その中から夏羽を探すのも楽しいですね。



1月28日

ダイシャクシギがコサギに追いかけているのを発見しました。よく見ると、ダイシャクシギのくちばしで、特大のゴカイが動いています。コサギは、ダイシャクシギの捕まえたゴカイを横取りしようとしていたようです。

野生の生き物、エサを確保するのは大変なんですね。(見ている私は、楽しかったですが…)



漫湖チュラカーギー作戦 16

漫湖水鳥・湿地センターの観察会

主催：漫湖自然環境保全連絡協議会

はじめての野鳥観察

日時：2月18日(土) 9時30分~12時

日時：2月19日(日) 13時~15時

集合場所：漫湖公園駐車場(野球場隣駐車場)

集合場所：漫湖水鳥・湿地センター

服装：清掃のできる軽装でご参加下さい。

ただいま予約受付中です!!

*ゴミ袋・軍手は事務局で準備いたします。

3月の観察会

問い合わせ：那覇市環境保全課

まだ、日程が決まっていますが、3月も観察会を行う予定です。詳しくは、センターまでお問い合わせ下さい。

(TEL: 098-951-3229)

団体利用

1月	地域
保育園・幼稚園	
あゆみ保育園	那覇市
報恩幼稚園	那覇市
小祿幼稚園	那覇市
小学校	
とよみ小学校4年生	豊見城市
中学校	
西崎中学校	糸満市
伊良波中学校1年生	豊見城市
長嶺中学校1年生	豊見城市
高等学校	
糸満高校3年生	糸満市
大学・専門学校	
サイテクカレッジ	浦添市
医療・福祉関係	
ナカヤ作業所	那覇市
虹の家サービス	那覇市
その他	
社会就労センター	浦添市



総入館者数

56,254名

入館者数

1月 1,036名
(うち団体 255名)

市町村別入館者数

1位 那覇市 426人
2位 豊見城市 272人
3位 県外 183人

今月も那覇市が第1位!!観光客の方もたくさん来てくれました。

編集後記

センターの片隅に一本の桜の木が生えている。鮮やかなピンク色の花がとても綺麗。野鳥も春の気配を感じているのかな?



玉城 寿史

〈漫湖水鳥・湿地センター管理運営協議会(環境省・沖縄県・那覇市・豊見城市)〉

〒901-0241 沖縄県豊見城市字豊見城 982 TEL(098)840-5121 FAX(098)840-5118

開館時間 9:00 ~ 17:00 休館日: 月曜日(月曜日が祝日の場合・翌日)、年末年始(12/29 ~ 1/3)

E-mail: manko_mizudori@ybb.ne.jp

HP: http://www.geocities.jp/manko_mizudori/